

一般会計補正予算

追加3,270万円を可決



▲笑顔でつなごう次世代へ！ 金山まつり山車パレード

新エネルギー構想  
太陽光発電工事はじまる

- 一般会計に3,270万円を追加して総額31億5,770万円とし、公共下水道事業特別会計では1,046万円を減額し、総額1億3,733万円とした補正予算を審議可決しました。
- ◎ 主な財源
  - 繰越金2,282万円
  - 国庫負担金169万円
  - 雑入 961万円
  - (内訳 新エネルギー・産業技術総合開発機構補助金と、コミュニティ事業の助成金)
  - 消防債 580万円
- ◎ 主な使いみち
  - 総務課
    - ・ 山車台車更新費助成 10日町若連250万円
    - ・ 羽場若連 180万円
    - ・ 国保統合検討会負担金 40万円
    - ・ グリーンバレー神室太陽光発電設置工事費 410万円
  - 町民税務課
    - ・ 消防施設の整備費 835万円
  - 健康福祉課
    - ・ 障害者福祉支援 103万円
    - ・ 生活保護者更生医療費 210万円
    - ・ 健康づくり運動推進員養成講座費 43万円
  - 環境整備課
    - ・ 凍雪害町道補修費 495万円
    - ・ 町営住宅羽場棟、七日町棟補修費485万円
  - 産業課
    - ・ 林道維持補修費 100万円
  - 教育委員会
    - ・ 家庭教育支援統合推進費 38万円
    - ・ 森のこども図書コーナー開設セレモニ経費 26万円

本会議の審議  
どう使われる補正予算

松田誠治議員 新庄祭250年祭と、町政施行80周年にあたる金山祭に対する町長の考えを問う。町長 250年祭の記念イベントは重みがあり、周知しているが、最上町村会の関わりはない。金山祭についてはできる限りの支援をする。

岸 綾子議員 消防費580万円は安心安全のどの分野に使われるか。

町民税務課長 長野地区に防火水槽設置と第9分団に小型ポンプ積載車購入、蒲沢地区が整備したサイレン柱の補助である。

岸議員 地区町村会協同事務処理検討会負担金40万円は広域行政の変革のためのものか。

総務課長 合併しない最上7町村の自治体から各1人、7人の職員で協同化についての研究をしている事務経費であり、サービスの向上と保健費軽減による行政経費の効率化を図るためのものである。

3カ月ほど作業をし、一定の方向が見えたらまとめる。

条例改正・規約変更

- 国民健康保険税 条例の一部改正
- 理由 疾病の増加や高度医療費の増大に伴う国保事業会計の適正化を図るもの
- 内容(税の引き上げ)
- 医療分
    - ・ 所得割額 5.7% → 7.5%
    - ・ 資産割額 30% → 36%
    - ・ 被保険者均等割額 19,200円 → 25,500円
    - ・ 世帯別平等割額 28,800円 → 31,500円
- 介護分
- 所得割額 0.85% → 1.1%
  - 資産割額 6% → 6.5%
  - 被保険者均等割額 6,000円 → 6,800円
  - 世帯別平等割額 4,000円 → 5,000円
- 農業委員会等の選挙による委員等の定数条例改正
- 理由 農業委員会等に関する法律の改正によるもの
- 内容
- ・ 選挙による委員定数7人
  - ・ 金山農業協同組合 1人
  - ・ 山形中央農業共済組合 1人
  - ・ 泉田川土地改良区 1人
  - ・ 議会推薦 2人以内
- 山形県市町村交通災害共済組合規約の一部変更
- 理由 立川町と余目町が合併して庄内町となることによるもの。

人事

- 人権擁護委員に 天口 亮一氏を推薦 (新任)
- 監査委員に 栗田 守氏を選出 (新任)
- 農業委員に 天口 慶一氏を選出 (新任)



住所 金山町大字山崎 字三枝291番地



住所 金山町大字金山 934番地



住所 金山町大字上台 127番地

専決処分

平成16年度老人保健特別会計の歳入不足額1,350万円を、平成17年度予算歳入から繰り上げ充用補正したものを承認しました。

議員発議

道路整備予算の確保に関する意見書

地域間の連携を強め、均衡ある発展と、安全で安心できる、活力ある高水準道路整備の形成を国に要望するもの。

意見提出先 内閣総理大臣 小泉純一郎 外6名宛て

鈴木政策主幹 多く見積もっていた当初予算の計上を調整減額したもので、規模を正常にしたものと理解していただきたい。須藤典夫議員 国民健康保険税を引き上げる条例改正が上程されたが、今後の更なる動きはどうなるのか。

町長 今後3年間くらいは制度改革のないように、特に次の3点を考えている。

- ① 協同化によるコストの削減。
- ② 国保給付費の増大に伴う問題解決以上に、健康づくりの充実をする。
- ③ 国民健康保険の統合による基盤強化など安定運営に努める。

▲どこまで減るか、この議席数